

芸術祭にかける 2人の思い

市長 札幌市では、2006年に「創造都市さっぽろ」を宣言し、市民一人一人が持つ創造性を磨き高めるための取り組みを続けています。札幌国際芸術祭は、それを象徴する一大イベントです。開催にあたり、坂本さんに企画・監修をお願いしたところ、快く引き受けてくださいました。ありがとうございます。

坂本 私は、北海道の人間でも、アートの世界の人間でもありません。だからこそ、慣習に縛られずに自由な表現ができると思

っていますし、北海道・札幌の豊かさを自由な目で見る事ができます。この地にある文化的な資産や歴史をもっと学び、得られた新たな視点を芸術祭に生かしていきたいと考えています。
市長 別な視点で物事を見ると、新しい発見がありますよね。アートは、そうした「気付きの契機」を私たち市民にもたらしてくれるのだと思います。

テーマを「都市と自然」にした理由

市長 芸術祭のテーマは「都市と自然」に決まりましたね。

坂本 ええ。私たちは、日々、人工的なものに囲まれた環境で生きていて、雲や星を眺めたり、木々のざわめきに耳を傾けたりする時間が少なくなっています。そうした中、2011年3月に東日本大震災が起き、自然が持つ力の強大さをまざまざと思い知らされました。この経験から、私たちが住む都市と、札幌の魅力である雄大な自然との関わりを、いま一度見つめ直さなければならぬと考えたことが「都市と自然」をテーマにした理由です。



期間中に 開催する 主な企画



〈参考画像〉坂本龍一+YCAM InterLab Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー) 2013年 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]



〈参考画像〉山口市の出雲神社の樹木 (撮影: 高谷史郎) 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]



〈参考画像〉コロガル公園 2012年 写真提供: 山口情報芸術センター [YCAM]



〈参考画像〉中谷英二子 Fog Sculpture #47636 “風の記憶” 2013年 霧 豊田市美術館での展示風景 撮影: 谷川寛

エキシビション

日程 7/19(土)~9/28(日)
会場 道立近代美術館、芸術の森美術館、駅前通地下歩行空間、道庁旧本庁舎「赤れんが」など
「都市と自然」をテーマにさまざまな展示を行います。

展覧会

1 坂本龍一+YCAM InterLab Forest Symphony (フォレスト・シンフォニー) in モエレ沼

日程 7/19(土)~9/28(日)
会場 モエレ沼公園(東区モエレ沼公園)
道内の複数の地点で計測する樹木から流れる微弱な電気を、音楽に変換するインスタレーション(空間的作品)。各地の樹木を「演奏者」として「シンフォニー(交響曲)」を奏でます。

空間的作品

2 コロガル公園 in さっぽろ

日程 7月初旬~9/28(日) 会場 資料館(中央区大通西13)
起伏のある木で構成された空間。スピーカーやマイクなど、メディアを使った仕掛けをもち、子どもたちが新しい体の動きや遊びのルールを生み出していく場になります。

子ども向け

3 中谷英二子 FOGSCAPE #47412 屋外作品

日程 7/19(土)~9/28(日)
会場 芸術の森美術館(南区芸術の森2)
美術館壁面に滝に見立てた人工霧による作品を発表。都市と自然の在り方に思いをはせる場を創出します。

協力: 山口情報芸術センター [YCAM]